

ユーティ君の ユニバーサル デザイン講座

みんなにやさしいまちをめざそう！

おしえて。ユーティくん！

第4回

ユニバーサルデザインは1980年代に提唱された考え方です。もともとは「できる限りたくさんの方が使いやすいように、モノづくりをしよう。」との考え方から始まったものですが、社会運動における気運の高まりを見せています。

実はとても身近にある「モノのユニバーサルデザイン」。たくさんありますが、今回はその一部をご紹介します。

※ユニバーサルデザイン…略してUD



ホームページも
近日開設予定だよ！

意外と身近にある「UD製品」

できる限りたくさんの方が使いやすいということは、それだけたくさんの人に喜んで、満足してもらえるということ。産業においてもUDは注目の分野になっています。



シャンプーの側面に凹凸。(リンスには無し)これで洗髪するとき、目をつぶっても確認できるのです。



低い位置に選択ボタンを配置した自販機。子どもでも選んで押すことができるようになっています。

安全、分かりやすい、みんなが使いやすくデザインがいい。
UD製品は増えています。



みんなが暮らしやすいまちづくり「ハードのUD」

施設もUDに配慮すると、みんなが使いやすい施設になる。当然、使い勝手の良い施設には人は集まる。UDで賑わいのあるまちにしよう



段差を無くした施設。いろいろな人が利用しやすいうえに、見栄えも良いのがUDです。



自動ドアは赤ちゃんを抱っこしている人や、荷物をたくさん持っている人に便利。



みんなのトイレは十分なスペースや設備があって便利。誰もが使いやすいという配慮もUDです。

UDは行政だけでは実現できません。幅広い市民の理解と自主的な参加が必要です。

ご意見・お問い合わせ／企画部企画課UD係 TEL23-9325・FAX23-3816